

(第1回変更) 契約変更の内容

契約変更年月日	平成 31年 6月 11日
契約業者名	阪神高速技研(株)
契約業者の住所	大阪府大阪市西区阿波座1-3-15
業務の名称	平成30年度設計基準等改定に関する資料作成業務
業務場所	阪神高速道路(株)の指定する場所
業務種別	土木設計
業務概要	打合せ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1式 鋼構造物標準図の改定基礎資料の作成・・・・・・・・1式 コンクリート生産性向上策の導入検討・・・・・・・・1式 業務・共同研究契約ガイドラインの改定検討・・・・1式 設計情報データベースの検討・・・・・・・・・・・・1式 三次元モデル構築の効率化検討・・・・・・・・・・・・1式 文書管理の効率化に向けた技術基準等整理・・・・1式 重力式擁壁の設計基準改定に係る検討・・・・・・・・0→1式 附属構造物標準図集の改訂にかかる資料作成・・・・0→1式 技報編集補助・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・0→1式 舗装設計基準の改定にかかる資料作成・・・・・・・・0→1式 地震被災度推定システムの改良・・・・・・・・・・・・0→1式 モニタリング用センサーの設置箇所に関する検討・0→1式
業務期間(自)	平成 30年 8月 4日
業務期間(至)	平成 31年 8月 9日
契約金額	78,084,000 円
変更金額	32,108,400 円 増
変更後の契約金額	110,192,400 円
変更理由	別紙のとおり

※金額は、税込みである。

変更契約理由書

平成30年度設計基準等改定に関する資料作成業務 第1回変更

- ・壁高欄の鉄筋位置の変更に伴い壁高欄の断面試算を追加。また、改定原案の作成に際し、有識者への意見照会により構造図面を精査することとした。その結果を取りまとめたうえで、修正必要箇所を検討し改定案を作成する必要性が生じたことから、その対応を追加。
- ・設計情報データベースのフォーマット作成に向けた検討を行うにあたり、対象工区である三宝JCT および松原 JCT の設計資料の資料収集・整理を追加。
- ・三次元モデル構築の効率化検討にあたり、「三次元モデル構築の効率化技術に関する情報収集」「三次元モデル構築の効率化検討」・「CIM 事業における成果品作成の手引き—開削トンネル・シールドトンネル編—（素案）の作成」・「三次元モデルの作成」を追加。
- ・検索性向上に資する属性情報の検討および検索性向上に資する属性情報の抽出に関しては、本業務では不要と判断し削除。
- ・設計風荷重を変更した場合の重力式擁壁の構造設計結果への影響度を急ぎ試算することが必要となったため、本業務に追加。
- ・標準図集の改訂案を急ぎ作成するため、本業務に追加。
- ・技報第29号の発刊に向けた検討を急ぎ実施する必要があると判断し、本業務に追加。
- ・別途実施している室内実験結果および現場試験施工の結果より、橋面舗装の表層に小粒径ポラスアスファルト混合物を用いることを標準とする方針となった。今後の早期現場適用のため、設計基準第3部第4編の改定案を急ぎ作成することが必要となったため、本業務に追加。
- ・早期の地震防災対応での活用のために急ぎ検討を実施する必要性があり、地震被災度推定システムの改良・モニタリング用センサーの設置箇所に関する検討を追加。